Q字形が身につく指導方法がありますか。



- ① まず大事なこと
- ② 頭を使う
- ③ 体を使う
- ④ 忘れないために
- ⑤ 教育的評価



まず大事なこと

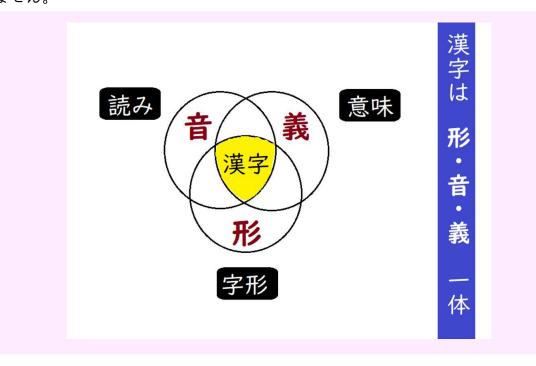
「はじめにコトバありき」です。まずは読みと意味指導を!

漢字形は単なる図形ではありません。

昔、中国のコトバ(発音+意味)を表すべく点や線を組みあわせて描いたものが漢字形です。ですから、形(字形)は、漢字の音(読み)、義(意味)に制約されるのです。発音や意味と無関係に字形があるのではありません。

「春が木まし田。」とは書きません。

それゆえ、発音と意味をはっきりさせたうえで字形学習をおこなうことが必須です。読み・意味の理解なしの漢字形は、漢字の学習ではなく図形の学習にすぎません。





頭を使う

字形の組み立て(構造)の理解

*漢字形は全体(概形)としては四角形

だから筆記の時も全体としては四角形に書くと形が整います。

*字形を分解できる漢字と 分解できない漢字

i 分解できない漢字

物の形に似せて作った象形文字や 抽象的な ことを表す指事文字は、字形全体がまとまって ある意味を表しているので分解できません。 鳥魚馬 ^{象形文字} 上下一二 _{指事文字}

ii 分解できる漢字

漢字の多くは部品(構成要素)を組み立てて作られています。

組み立てには一定の パターンがあります。 右のように分けられ ます。

パターンの特徴を知ることで意味理解(部首や読み方)を助け、 正しい書字に導くことが可能です。

左右(偏、旁)	休 校
上下(冠、脚)	草発兄照
^た 垂れ	広原病居
_{にょう} 繞	遠建起
^{かま} 構え	門国区包術

iii 上記i、iiを経て、字種ごとに分解させましょう。

^例 花 = ++ (イ+ヒ)

強 = 号 + (ム+虫)

数 = (米+女) + 攵

2 筆順の原則の理解

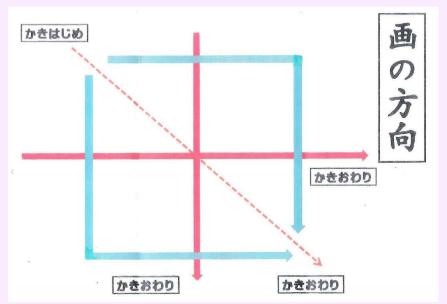
(右利きに都合が良いようになっている。)

*なぜ一定程度の筆順指導が必要か。

料理、仕事、車の運転等は決まった順序に従っておこなうと間違いがなく、かつスムーズに作業を進めることができます。

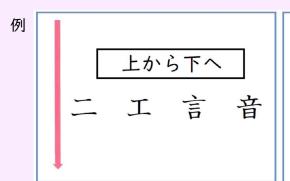
書字も同じです。

①大原則 左上から右下へ



大城勝政氏による。

②基本原則 上から下へ 左から右へ





③その他の原則 横画が先、中が先、外側が先、左払いが先など …これらはつまるところ体で覚えるほかありません。

3 自分なりの覚え方を見つける

*「書き方ストーリー」(字画、筆順、意味が一体の覚え方)

3年「勝」の例

「月を見て、ソう思った。あの二人は、力が入ってそうだから、 しあいで勝てそうだ。」

「月の夜、ソっと二人で力くらべの勝負する。」

〈書き方ストーリー〉とは、ひとつの漢字の字体に着目し、構成要素に分解してつくった短文のこと。その漢字の基本的な意味、あるいは代表的な漢字語の意味とむすびつけることにより、すじにそった短文をつくる過程を重視する。単に、筆順を口でとなえて覚えるだけにとどめない。〈字体ストーリー〉〈覚え方ストーリー〉などとも呼ぶ。

「 I セット 5 過程方式の指導例・指導のヒント」のページ 参照

小学校 3 年「勝」授業実践記録 小学校 5 年「均」授業実践記録

3 体を使う

*筆記具のもち方確認。

もち方が正しくないと鉛筆がスムーズに動きません。

I 一画目が大事

一画目が正しく書けると二画目以降がスムーズです。(経験値から)

2 体になじませる

体全体を鉛筆にしたイメージで、立って大きく書く(特に低学年)。 →肩・肘・手首・指先を意識して書く(**手首化**という)

3 数回の筆写

回数は、既習漢字の組み合わせか、未習字形かによる。

例

練習不要	4年夫 5年久 6年寸など
数回の筆写	6年砂肺など
ていねいな 指導が必要	2年声番曜など



忘れないために

| コトバとして使ってみる

口頭文〈文を声に出して言ってみる〉で。筆記の文で。

2 その日のうちに、忘れない程度の復習を

時間がたちすぎると思いだせなくなる。

3 機械的に数多くの漢字を書く練習はかえってマイナス

苦役になり漢字嫌いをうむ。



教育的評価

*やる気のでる方法をさがす

成績をつけるためではなく、個々の子どもの一字一語のコトバの 力を伸ばすためのその都度その都度の、いわゆる形成的評価を重視 したい。

そのためには、評価の時期、内容、方法を固定的にとらえること なく、多様に、柔軟に考えたい。

テスト方法

その一例 問題は5問から。 問題を各自がつくる。

詳細は別途報告予定。

字形の許容 2

指導は教科書体に沿って。

採点は許容例を生かして。

(一例) 「木へん」の2画めは、止めてもはねてもよい。

「常用漢字表の字体・字形に関する指針(報告)」文化審議会国語分科会 参考 平成28年2月29日 (文化庁ウェブサイト)

再指導

その一例 誤字と雑な字との区別。 クラス全体の傾向か、個別の課題か。 詳細は別途報告予定。

合理的配慮 4

読み書き障害を含め支援の必要な子には、早い時期から音声読みあげ ソフトや書字タブレット等の機器を利用し、苦痛を与えない配慮が必要。